

# みんながいれば通信

2016

7月号

## 3.11 支援ネットワーク・ぎふ みんながいれば



【7月の茶話会報告】

東濃地域の避難者の方達と交流しよう!!



の家族4人が参加しました。

7月10日(日)、岐阜の避難者・支援者と他地域の避難者との交流会をしました。

行き先は、恵那峡「天界苑」と三陸屋です。

「3.11支援ネットワーク・ぎふ」のメンバー8人、RSY(レスキュー・ストック・ヤード)から2人、現地の避難者の



楽しみの一つが電車の旅行です。ふだん自動車での移動が多いなかで、岐阜から名古屋経由で1時間半、ゆったり雑談することができました。

避難者の方から「今の家は子どもの仕事場のすぐ近くなので、安心して仕事に出られる。『借り上げ住宅制度』がなくなって転居してしまったら、その日の子どもの調子によっては仕事に出られなくなる場合も出てくる。家賃のことも、自分の仕事のことも心配だ」という話が出ました。

子どもたちは、大人の心配事は知らず、運転手のすぐ横に立って流れる景色を見つめていました。

恵那峡「天界苑」は、恵那峡の川向こうにあります。恵那峡が見下ろせる高台にあって、木曾川と巨岩の勇壮な景色を眺めながら、自己紹介や近況報告をしました。

恵那の避難者の方は、広い土地でヤギを2頭飼いながら農業支援をして働いているという話でした。思わず、アルプスのような牧歌的な景色を思い浮かべてしまいました。

避難者はみな親子連れだったので、子どもたちが



動物との触れ合いを楽しむ子どもら - 中津川市 船川、恵那峡天界苑

### 県内の震災・原発避難親子ら 恵那峡を散策、親睦

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故による避難者ら約14人が参加した。県内に避難している親子ら約14人が、恵那峡「天界苑」を訪れた。県内避難者ら約14人が、恵那峡「天界苑」を訪れた。県内避難者ら約14人が、恵那峡「天界苑」を訪れた。

2016.7.11  
岐阜新聞

どこから避難している3組9人の親子と、認定NPO法人「レスキューストックヤード」(名古屋)のスタッフなど計14人が参加した。日光施設の恵那峡天界苑を散策し、動物と触れ合うなどし楽しんだ。富岡町から避難した須田信司さんが、中津川市の物産店「三陸屋」も訪れ交流した。

池のコイにエサをやったり、ヤギやミニブタ、ウサギなどの小動物に触ったりするのに付き合いながら、一緒に遊びました。

そこへ、恵那の避難者の友だちという親子連れが参加され、さらに賑やかになりました。地元で付き合いを広げてみえる様子が分かりました。また、岐阜新聞の記者の方も取材にみえて、遊んでいる写真を撮ってもらいました。この記事は、次の日の県内



版に載せてもらえました。

昼食後は、「天界苑」前のおみやげ屋、三陸屋さんに寄りました。ここのご家族も東日本からの避難者です。三陸屋さんには、馬籠観光をするバスが休



憩に寄るとかで、バスの誘導で忙しいなかでお話を聞かせてもらいました。ご主人から、他にも東濃に避難されている方がみえることや、今は熊本の支援をしているとか、「悩んでいることがあったら、いつでも相談しに来い」と言っていただきました。

今回の訪問で、避難者・支援者で名前は知っているとか、話を聞いたことがあるとか、そういう程度では生まれにくい仲間意識のようなもの、親密感を強めることができました。岐阜の避難者の方々も、自分だけではないと心強く感じられたのではないかと思います。



前日の雨天とは打って変わって暑い日でしたので、アイスクリームをご馳走になりました。大人も子どもも大喜びでムシャムシャ、かぶりつきました

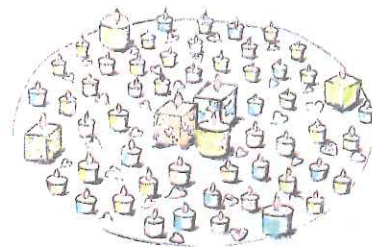
【みんながいれば広場のご案内】

【8月】フクシマ支援相談茶話会 (親子活動)

キャンドルを作って、震災で亡くなった人々を追悼しよう



日時:8月7日(日) 15:00~17:30  
場所:円徳寺 (岐阜市神田町6丁目24)



\*こんな感じで、ローソクを並べます。

15:00~17:00 キャンドル作り

「つかいぼう」ビーカンパニーの協力で、ローソクを作ります。  
(溶かしたローソクを使うので、やけどに注意しましょう。)

17:00~17:30 セレモニー

震災で犠牲になった方へ追悼の意を込めて、キャンドルナイトを行います。  
詩集「第二楽章 福島」より詩の朗読、「花は咲く」を合唱しましょう。

特定非営利活動法人障害者自立センター つかいぼう

障害者の地域での自立と、誰もが共に生きる社会をめざす障害当事者団体です。

障害のある人の働く場として、作業所(就労継続支援 B 型事業所ビー・カンパニー)を運営しています。

安全でおいしい食材やお菓子、環境にやさしい日用品、雑貨風の素敵なキャンドルの製造、販売などを行っています。



ビー・カンパニー内にてオルタ食堂という自然食レストランも開店しています。障害のある人たちの就労

支援施設で生産されたお米や、農薬などの使用を控え育てられた季節の野菜をふんだんに使い、ヘルシーで手作りのランチです。とっても美味しかったです。

【今後の茶話会の予定】

9月18日(日) 地域訪問活動(詳細は次号で)

10月23日(日) 生活相談会と学習会 「霧箱で放射能を見よう」

身の回りにある放射線を霧箱を使うことにより、目で見るができます。  
岐阜大学の中村塚先生にきて頂き、学習会を開きます。

(\*お断り 9月の予定でご案内しましたが、先生の都合で10月に変更します)

【9月は、福島原発事故損害賠償請求訴訟裁判があります。】

【福島第一原発事故損害賠償請求訴訟 次回予定】

9月10日(金) 13時半

10月6日(金) 13時半

場所:名古屋地方裁判所 (名古屋市中区三の丸1-4-1)

裁判後、他会場で  
報告会あります。



3.11支援ネットワーク・ぎふ  
事務局:小笠原  
058-265-3868

〈振込み先〉 ゆうちょ銀行  
記号 12490  
番号 16572541

3.11支援ネットワーク・ぎふ  
ご支援、よろしくお願ひします。